



まちの郵便局の
ウインドウアートに挑戦。
ハロウィンに写真を撮って
楽しめるフォトブースも
制作！

役場の観光振興課の協力で
スカイランタンの打ち上げを
実現しました！



小さなまちだからできる！ 学びのフィールドは当別町

当別高校 × 当別町商工会



イベントで交流

まちの中から歴史を学ぶ
商店街を花とアートで彩る



地元企業から教わる
自然の中での活動



教室は当別町。学生ひとり一人の興味がある
こと・疑問に感じることをテーマに、学びを深
めていきます。

当別高校普通科は地域創生を目指した探究
学習をすすめています。当別町商工会は、まち
を教室に活動するみなさんの学びを支えてい
ます。

その秘密は裏面へ！



100年続くお菓子屋さん
「ふじさわ製菓」で
100周年記念のお手伝い。
接客ってたのしい！

構想から約1年。
いろんな人たちの協力も得て、
廃止された線路をたどる
フットパスがついに実現



まちを教室にした
取り組みは
他にもたくさん！

【園芸デザイン科】地元食材を使って商品開発。道の駅での販売など六次産業化に向けて研究中
【家政科】・食物調理コース 高校生カフェを実施、地元食材のレシピ研究中。
・保育コース こども園や子育てサロンと交流。手作りおもちゃも研究中。

当別町商工会は当別高校と連携協定を結び、地域で活動する高校生を支えています

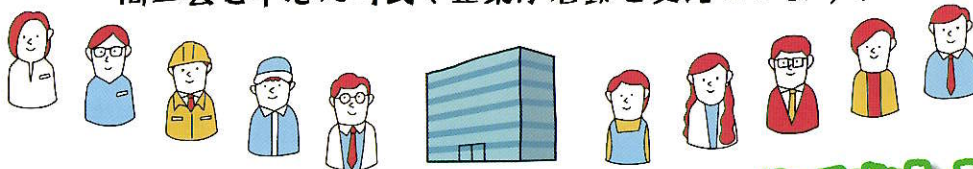
当別町商工会と北海道当別高等学校は、令和5年11月30日に連携協定を締結いたしました。

当別町商工会は生徒ひとり一人が持続可能な社会の担い手として成長することを期待して、当別高校生の活動を支援しています。

生徒が高校から地域に飛び出して活動しています！



商工会を中心に町民や企業が活動を支援しています！



私たちも全力で学びを応援します



当別町郵便局のみなさんと郵便局長 米陀 和成氏(右)

自分たちで考えた企画案を一生懸命説明してくれ、アポ取りも自分たちで考え行動し説明してくれたことが、高校生活を通じてしっかり成長されているんだとたく感動しました。自分たちの特技を活かして素晴らしい作品に仕上がっています。



辻野建設工業株式会社 代表取締役 辻野 浩氏

ツリーハウスを作りたい生徒のためにモデルハウスを見せ、図面を描き、小屋を建てる場所を確保し、建材を集めました。この建材集めに商工会員の解体屋、廃品回収業、板金屋が協力しました。生徒と企業が成長する学びがここにあります。

粘って議論する場 **粘議場** ネバギバ



「まちの人の前で想いをプレゼン！」

プレゼンターは生徒！探究したいことについて町民にアドバイスを求めます。年齢や職業の枠を超えて議論し、つながりを広め、企画を現実のものにしていくネバギバは、教育関係者の間でも注目を集めています。



ハヤカワ建設株式会社 常務取締役 岡 隆太氏

粘議場のランタンプロジェクトがきっかけで、体験学習の提案をしたり、当社に入社してくれる方もいます。当別高校との関係は、僕らも新たな学びがあっいつもワクワクしています。これからも、僕らも本気で皆さんの夢を応援します！



体験学習の一コマ。体験内容は生徒に身につけて欲しい力を、担当の先生としっかり打ち合わせしました。



北海道大学大学院 地球環境科学研究院 学術研究員 博士(環境科学) 神 志穂 様

ここまで高校の中で地域の方と一緒に取り組めるのは、町の方々と高校の先生が学びの哲学をしっかりと共有できていて、信頼関係があり、心理的安全性のある場になっているからこそだと思います。生徒も大人も一緒になって、全力で真剣に取り組む。これが、エージェンシー※を育てるのだらうと感じます。

※OECD(経済協力開発機構)が提唱する概念。自ら考え行動することで、責任をもって社会を変革していく力のこと。

お問い合わせ先 当別町商工会
0133-23-2447

北海道当別高等学校からの
お知らせ・活動報告はこちらから

